

## 「第 14 回アラブ人学生歓迎プログラム ASP2015」

政策・メディア研究科博士課程 2 年 兼定 愛

### 1. 内容

「アラブ人学生歓迎プログラム(以下 ASP)」は、アラブ諸国で日本語を学ぶ学生を約 2 週間 SFC に招聘し、研究会の活動の一環として、SFC でアラビヤ語を学ぶ学生たちと日本語レポート作成や日本語ビデオスキット映像の制作などを通じて行う、アラブ・イスラーム圏との学術交流プログラムである。

14 回目を迎えた今回は、11 月 1 日から 15 日まで、「そして、共に歩もう」を全体の統一テーマとして、シリアとモロッコから計 3 名の日本語学習者を招聘して行われた。

日本語による個別の研究レポートの作成や日本語ビデオスキット映像の制作のほか、神奈川県立中央農業高等学校との交流活動、アラビヤ語によるディスカッションや授業、着付けや茶道をはじめとする日本文化体験、東京・鎌倉・富士山への小旅行などを行った。「作りながら学び、学びながら作る」というコンセプトのもと、実践的な活動の展開が、単なる相互理解にとどまらず、自分たち自身の変化への努力を通じて、互いに共有できるものを探究する契機となり、日本とアラブ、さらにはアラブ人同士の良い関係を作るプログラムとなることを目指して活動した。



日本語レポート最終発表会後の集合写真



先生方と、着付け体験中のアラブ人学生

### 2. 目的

学問を追究する学生同士として、アラビヤ語を学ぶ SFC の学生と日本語を学習しているアラブ人学生が、日本語レポートの作成やスキット撮影を通じて互いに影響し合い、お互いが変わっていくことが本活動の目的である。最終的には、将来にわたって日本とアラブ世界の関係を友好的に発展させることのできる人物の育成を目指す。

### 3. 2015 年度統一テーマ「そして、共に歩もう」

近年アラブの情勢が混迷を極め、日本においてもイスラームへの偏見が強まっている。さらに、アラブでは物理的な暴力が人々の生命を脅かしている一方で、日本では様々な内的な危機が人々の生命を蝕んでいるともいえる。このような状況の中では、異なる価値観を持つ人々が平和裏に共生し、よりよい社会を作るために協力し合うことは難しいように見えるかもしれない。しかし学問を追究する学生たちの活動である ASP においては、どのような状況の中でもまずは人間同士として繋がり、大きな目的に向かって、強い意志を持って歩み続けることができるはずである。したがって今年度は、それぞれの抱える困難な状況を十分に受け入れた上で、「その先へ」共に歩き出そうという前向きな意識を参加者全体で改めて共有したいという思いから、この統一テーマを掲げることになった。

なお、本年度の活動は、神奈川県立の大学発政策提案制度「ムスリム接遇人材育成プログラムの開発と実施～共生的モデルの構築とともに～」(平成26年度最優秀提案)の事業の一環としても実施され、学術交流からイスラーム教徒との共生モデルの構築を模索した。さらに、今年度の活動は、慶應義塾大学スーパーグローバル大学の事業の一つとしても指定され、慶應義塾のグローバル展開にも貢献した。

### 4. ASP2015 の概要

日時:2015 年 11 月 1 日(日)～11 月 15 日(日)

場所:慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)

参加者:・招聘者:シリア人学生 1 名、モロッコ人学生 2 名(計 3 名)

・SFC 側:奥田敦教授(全体統括)、実行委員(奥田敦研究会に所属する院生・学部生・ASP 卒業生 19 名)

## 5. 期間中の主なプログラム内容

11月3日(火) 14:15～	<b>アラビヤ語ディスカッション</b> 日本語学習者である招聘者と、アラビヤ語学習者である日本人学生が、本年度統一テーマに関連して『そして、共に歩もう』という言葉から、あなたは何を考えますか？あなたがこれまでに経験したことや学んだことを踏まえて話し合ってください』という議題のもと、アラビヤ語を用いてグループディスカッションを行い、両者の言語を用いて結果報告をした。
11月4日(水) 12:00～	<b>表敬訪問</b> 河添健総合政策学部長、村井純環境情報学部長、清木康政策・メディア研究科委員長への表敬訪問を行った。招聘者は自己紹介をした後、期間中の抱負や目標などについて話した。
11月4日(水) 14:30～	<b>神奈川県立中央農業高等学校訪問・交流</b> 奥田敦研究会 OB 菊池創太先生が勤務している神奈川県立中央農業高等学校(江原洋一校長)を訪問し、高校生とのディスカッション交流会のほか、餅つきや、和太鼓演奏を体験した。
11月5日(木) 9:25～	<b>アラビヤ語インテンシブ3の授業に参加</b> SFCで行われているアラビヤ語インテンシブ3の授業に招聘者が参加した。アラビヤ語を学んで半年程の日本人学生と交流し、アラビヤ語学習のサポートをした。
11月6日(金) 14:45～	<b>プレゼンテーション「アラブ人が語るアラブ」</b> 奥田敦教授の講義『イスラームとイスラーム圏／現代文化探究』の中で、招聘者が各自の故郷とその魅力、現在のアラブの情勢に対する考えなどについて、日本語でプレゼンテーションを行った。本講義の受講者(約300名)との質疑応答の場も設けられた。
11月6日(金) 16:30～	<b>家庭訪問</b> 教員や学生の家庭を訪問し、日本人の暮らしを体感した。
11月9日(月) 11:10～	<b>着付け体験</b> 外部の先生をお招きし、招聘者が浴衣と着物の着付け体験をした。
11月9日(月) 14:45～	<b>茶道体験</b> 実行委員の中の茶道経験者によるお茶会が開かれ、茶道を体験した。
11月14日(金) 14:45～	<b>日本語レポート最終発表会</b> 招聘者と実行委員が協力して作成した日本語レポートの最終発表会を、奥田敦教授の講義『イスラームとイスラーム圏／現代文化探究』の中で行った。各招聘者の問題関心をもとに、SFCの教授、学生へのインタビュー調査や、日本人学生とのディスカッションなど、2週間の様々な体験を踏まえて完成させたレポートを、招聘者が本講義の受講者(約300名)の前で発表した。

※週末は鎌倉旅行、東京旅行、富士旅行へ出かけた。また、上記のプログラム以外は日本人学生とアラブ人学生が協働し、日本語によるレポート作成に計100時間ほど取り組んだり、日本語学習者の副教材とSFCのキャンパス紹介とを兼ねたスキットビデオの撮影を行ったりした。

ASP2015の成果の一部は、11月20、21日に東京ミッドタウンで開催された慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスオープンリサーチフォーラム(ORF2015)にて展示公開され、配布した冊子にも掲載された。また現在は、年度末の完成を目標に、活動報告書とそのダイジェスト版の作成に取り組んでいる。

## 6. 予算の執行

本活動の招聘者2名弱分の航空券代として、湘南藤沢学会「研究助成基金」からの助成による予算を執行する。

## 7. 参考資料(本プログラムの活動が掲載されたwebサイト。なおプログラム詳細についての報告書は現在作成中。)

### ・SFC CLIP

- ・「『そして、共に歩もう』今年もアラブ人学生歓迎プログラムASP始まる」(<http://sfccclip.net/news2015103003/>)
- ・「アラブ人学生が見た日本とは 授業でASP最終発表」(<http://sfccclip.net/news2015120401/>)
- ・第14回アラブ人学生歓迎プログラム(ASP2015)公式webサイト(<http://nafidha.sfc.keio.ac.jp/webASP/2015/>)
- ・アラブ人学生歓迎プログラムFacebook公式ページ(<https://www.facebook.com/ASPbyOkudalab/?fref=nf>)

## 8. 謝辞

本プログラム実施に際し、ご協力いただきました全ての皆さまに心より感謝いたします。なお、本プログラムの予算は2015年度湘南藤沢学会研究助成基金、その他の研究助成、寄付や学園祭での収益などから執行されました。